

■ ■ 骨の強さ調べてみませんか？ ■ ■

診療放射線科 上林 聖

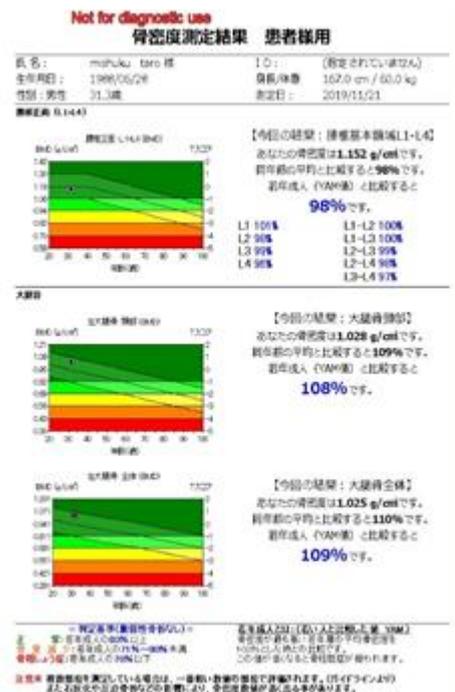
骨粗鬆症(こつそしょうしょう)をご存じでしょうか？
骨量の減少と骨質の劣化により骨密度が低下する骨の病気です。
骨粗鬆症の方は、健康な人に比べて骨折のリスクが増大します。
骨密度低下の原因には、閉経後の女性ホルモンの急激な低下による骨量の減少、加齢に伴う骨形成能の低下などがあります。
また特定の疾患、病態、薬剤が原因になることもあります。



当院で行っている骨密度検査はDXA(デキサ)法という
2種類の非常に弱いX線を使用して、骨の状態を見て骨粗鬆症の診断、つまり骨折のリスクを評価しています。X線を使うと聞いて心配になる方もいると思いますが、当院では被ばく量を最小限に抑える最新式の測定装置(GE製 PRODIGY Advance)を導入しています。非常に弱いX線を使用するので、被ばく量は約0.08mSv未滿。この量は一般的な健診の胸部X線一回とほぼ同じです

検査時間は5~10分程度で、基本的には仰向けに寝た姿勢で検査を行います。若年成人の平均値(YAM: Young Adult Mean)と比較し、骨粗鬆症の診断に用いられます。若年成人の平均値と比較して80%以上で正常、70~80%では骨量減少、70%未滿は骨粗鬆症と診断されます。
骨の強さに自信がある方もない方も、一度骨密度検査を受けてみてはいかがでしょうか？

最後に余談ですが、大豆イソフラボンとキウイフルーツを組み合わせると骨折のリスクが減少したという研究結果が最近発表されたそうです。ぜひお試しください。



(当院検査結果例)